



荒川水系(埼玉ブロック)流域治水プロジェクト

認知度向上への取組紹介

1

〈流域治水座談会〉埼玉大学写真部×国土交通省荒川上流河川事務所

企画・制作 埼玉新聞社クロスメディア局

流域治水 知るから始まる自分事化



座談会は埼玉大学で、それぞれが選んだ1枚の1枚から話題を広げた。レンズで切り取った風景は、川と深くかかわる人や暮らしの姿だった。



本田優太さん 国土交通省荒川上流河川事務所 流域治水課係長
宮本裕史さん 国土交通省荒川上流河川事務所 流域治水課係長



加納裕也さん 埼玉大学写真部副部長



加納さんの1枚



富樫海斗さん 埼玉大学写真部副部長



富樫さんの1枚



村田亮輝さん 埼玉大学写真部副部長



村田さんの1枚



石原海斗さん 流域治水課係長



石原さんの1枚



打越万由加さん 流域治水課係長



打越さんの1枚

これからの治水対策 流域全体で

全国各地で毎年のように豪雨の被害が起きている。地域活性化や防災の観点から、治水対策の重要性がますます高まっています。国土交通省荒川上流河川事務所は、流域治水の推進を図るため、流域治水座談会を開催しました。この座談会には、国土交通省荒川上流河川事務所職員と、埼玉大学写真部の学生さんが参加しました。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

本日は、荒川上流河川事務所と、埼玉大学写真部の学生さんが参加しました。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。学生さんは、荒川上流河川事務所職員と語り合った。

概要

- ・埼玉大学 写真部の学生さんが荒川で行われた撮影会に参加
- ・部員それぞれが選んだ1枚をきっかけに流域治水について荒川上流河川事務所職員と語り合った

主な意見

◆流域治水を知って変わったこと

- ・当事者意識が大切だと考えるようになった。
- ・行政に任せるだけでなく、市民や企業も自分事として行動することが被害軽減に繋がると知った。
- ・災害時の連絡方法や避難経路を家族で共有するなど自分にもできることを意識するようになった。

◆流域治水を広げるために必要だと思うこと

- ・自分が暮らす地域のリスクを知ることが大切だと実感した。
- ・地域活動に合わせて水害リスクを学ぶなど、知る機会が増えれば理解が深まると思う。
- ・地震に対して水害への危機感はずいぶん薄い。水害を想定した避難訓練は機会が少ないと思う。

できること 知る努力必要

川と暮らす人のつながりに気づく。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。

川と暮らす人のつながりに気づく

流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。

学ぶ機会 学校や地域でも

流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。

家族や友人へ伝えたい

流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。流域治水は、川と暮らす人のつながりに気づくことが大切です。

- ・東京デザイン専門学校の学生に流域治水に関するポスターを制作いただきました。
- ・趣旨は「水害を自分事化して、自分が今できることをみんなで取り組んでいこう」です。
- ・ポスターを制作するにあたって、流域治水とは何かを理解してもらうため、事前に概要を説明しました。
- ・荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会の構成員に配布しています。



概要説明の様子

流域治水ポスター 全14作品



ポスター掲示の様子



荒川調節池工事事務所



川越市



さいたま市



鴻巣市



荒川上流河川事務所

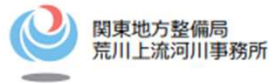


所沢市



埼玉森林管理事務所

いのちとくらしをまもる
防災減災



令和4年3月11日（金）
荒川水系（埼玉ブロック）
流域治水協議会事務局

記者発表資料

荒川水系（埼玉ブロック）流域治水のロゴマークが決定！

～荒川水系（埼玉ブロック）流域治水を広く周知・PRするための広報活動に活用します～

荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会は、荒川水系（埼玉ブロック）流域治水のシンボルとなるロゴマークを一般公募し、42作品の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。協議会構成員による投票を経て、令和4年3月10日開催の荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会（第4回）にて最優秀賞1点、優秀賞2点を発表いたしました。

最優秀賞作品は、荒川水系（埼玉ブロック）での流域治水を広く周知・PRするための広報活動に活用します。

記

1. 荒川水系（埼玉ブロック）流域治水のロゴマーク

一般公募で集まった候補42作品の中から、下記の作品が最優秀賞に選ばれ、荒川水系（埼玉ブロック）流域治水のシンボルとなるロゴマークに決定いたしました。

（最優秀賞）

作者：篠原 雀 様



※ロゴマークの使用規定につきましては、今後荒川上流河川事務所のホームページで公表いたします。
荒川上流河川事務所ホームページ URL：<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/arajo00927.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、
さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ、川越新聞記者会
秩父記者クラブ、所沢記者クラブ、上尾記者クラブ、熊谷記者会

問い合わせ先

荒川水系（埼玉ブロック）流域治水協議会	事務局
国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所	副 所 長 米沢 拓繁
	調査課長 天井 洋平
	電話049-246-6371（代表）
埼玉県 県土整備部 河川砂防課	副 課 長 永井 儀男
	電話048-830-5135（直通）

最優秀賞：1点

作者：篠原 雀 様



作品の説明・コンセプト

荒川流域の埼玉県の土地利用の特徴である森林・市街地・田畑のそれぞれで貯留（治水対策）し、正常に流れる荒川・入間川を表現しました。丸で囲い、流域を表現しています。

優秀賞：2点

作者：前田 光政 様



作品の説明・コンセプト

荒川源流の甲武信ヶ岳から流れ出た清流が、適切な管理によって、美しく穏やかに流れる様子を図案化しました。円内のグラデーションは上から空の青、田圃の緑色、黄色と薄赤は都市を表します。

作者：清水 芽路 様



作品の説明・コンセプト

甲武信ヶ岳からの流域と越辺川の流れから一つになる荒川水系をY字で表現しました。治水対策で水災害に備えるための環境や設備を描くことで身近で重要な存在であることを表現しました。（山、水田貯溜、ため池、避難拠点施設、排水機場、雨水貯溜浸透施設、校庭貯溜）